座学で提示された資料は沢山ある が、一番印象に残ったのは「世界の が、一番印象に残ったのは「世界の が、一番印象に残ったのは「世界の が、一番印象に残ったのは「世界の が、一番印象に残ったのは「世界の が、一番印象に残ったのは「世界の が、一番印象に残ったのは「世界の が、一番印象に残ったのは「世界の が、山の三角が特に印象的だった。 火山や地震大国の日本としては、 火山や地震大国の日本としては、 としても良いのでは! としても良いのでは!

 石の講座、でも話題はやはり能登半島 地震に。地球規模では狭いこのエリアを 見るときも、やはりプレートテクトニク スから考えることになるようだ。信じが たい土地の隆起や原因として浮上してき た「流体」の存在も突き詰めれば、糸口 はプレートテクトニクス。森下先生も率 でも、起きた事実をあれこれ考えてみる のも楽しい。白山も能登も基盤は同じ、 大陸起源の岩石とのこと。何千万年とい ち知れない。

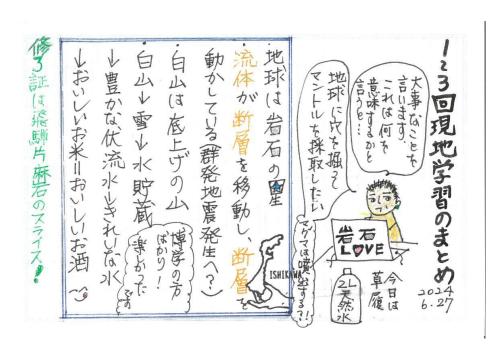
石から見る能登半島地震

本下教授、直力ある講談ありかとうごれまり、 トレードマークマの繋をもかられ、あれり、誰かなマと思ったがかいくて生れ、かったです。「「地球は何でいる」とかったです。「「地球は何でいるかわかりませた」」といったのかっては何がいるかものないといっようにして岩石になるのかっては何がいるからないといっようにして岩石になるのかってががかかりました。 一声にあったいとかが関係していたんですね、「ラれんかかり、カからないことがるえました。これって、かいは進歩したってことでいるではいまでの多名なができて見かかりました。

ツ性程営習課の資料よい企画、ありからこといまた。 暖かくすることなんだと久しぶりに幸せ

とてもうれしい 石の話も今日で最後。能登半島地震についての話も出てきた。地震の後、テレついての話も出てきた。地震の後、テレビで「流体」という言葉で解説をしていて「突然流体って何なんだろうと」不思ば、思っていた。森下先生も「流体と断層」で説明をされていた。自分はまだ十層」で説明をされていた。自分はまだ十層」で説明をされているのだと分かった。受講のご褒美に岩石のプレゼントをもらった。サプライズだ。すっごくうれしく石を学ぶことは人の心をほのぼのと

飛騨片麻岩のプレゼント



美 tz 3 To

深しかった講座でしてありかとう 歷,統分海岸線 今运何度》地震 売りかいいのか これは地球そのものの為みです 能登をとすえて下すり 起き一層気な壁になったのかなる なかなか復倒いは難かしってすね、気な かりは本には言えません。何を頑 をいして住めるにはどうすれば良い のかり 最後の学習で能を沖は断層はか 能登半 能發的恐樣的預限了口 個人の力ではどうしょうもありませ 島の地震かり半年 国をしてしかり

生 片麻岩大 い気持ちになります。 の足元を構成 内容 かと見うとありがた とうございました。 りました。 この石 に頂 飛轉片麻岩 した。 している 森下先 てあ 一層